

授業科目名・形態	精神保健福祉援助技術各論 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	古川 博文	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

精神科医療の特性を踏まえた、精神保健福祉専門職としての支援や相談援助の展開における基本的な考え方と必要な技術について理解を深めます。

【到達目標】

- (1) 精神保健福祉の歴史と動向について説明できるようになる。
- (2) ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）の価値について説明できるようになる。
- (3) 精神障害者支援における面接技法について説明できるようになる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション 精神保健医療福祉の歴史
- 第 2 回 精神保健医療福祉の歴史と動向 (1)
- 第 3 回 精神保健医療福祉の歴史と動向 (2)
- 第 4 回 精神障害者支援の基本
- 第 5 回 精神保健福祉士の精神障害者支援 (2)
- 第 6 回 精神保健福祉士の精神障害者支援 (3)
- 第 7 回 精神障害者の支援モデル(1)
- 第 8 回 精神障害者の支援モデル(2)
- 第 9 回 相談援助の価値前提と原則(1)
- 第 10 回 相談援助の価値前提と原則(2)
- 第 11 回 相談援助のプロセスと援助関係(1)
- 第 12 回 相談援助のプロセスと援助関係(2)
- 第 13 回 相談援助のための面接技術(1)
- 第 14 回 相談援助のための面接技術(2)
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義形式。本授業はコンピュータやプロジェクトを用いて、視聴覚プレゼンテーションの形式（スライド、映像等）で行います。また、学生の授業への積極的な参加を目的としてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを実施します。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目です、授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおいてください。

【主な関連する科目】

精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助演習

【教科書等】

古屋龍太（編）『精神保健福祉士シリーズ5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ』弘文堂
坂野憲司（編）『精神保健福祉士シリーズ6 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ』弘文堂

【参考文献】

特にありません。テキスト以外に必要なものは授業で紹介します。

【成績評価方法】

成績評価は試験（70%）、レポート提出や授業への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は福祉施設でソーシャルワーカー（社会福祉士7年・精神保健福祉士6年）として、利用者、その家族、支援者等への相談業務を経験しています。授業を通して社会福祉学の基本知識だけでなく、実務経験から得たソーシャルワーカーとしての知識・技術・価値を統合する能力についても高めていきたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めてください。また、配付資料は復習・テスト対策に活用できるように保管しておいてください。